

NEXT
55
みんなの力で、みんなの幸せを
SAWARABI
さわらび

- 1 表紙 水面に涼風「牛川の渡し」～軽費老人ホーム 若菜荘～
- 2 医学講話 梅毒(性感染症)について
◆皮膚科専門医/日本性感染症学会認定医 齊藤 友紀子
- 6 特集 大規模災害に備えて
～さわらび会の災害時における要配慮者の受入協定締結施設～

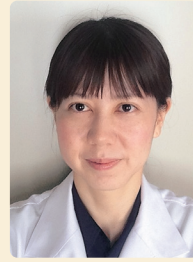
2025
vol.630 10



医学講話

皮膚科専門医 / 日本
性感染症学会認定医

齊藤 友紀子



梅毒(性感染症)について

今回は、性感染症の一つである梅毒についての話です。みなさんご存知でしたか？梅毒は日本において近年類をみない増加傾向が認められています。梅毒は、皮膚の症状が出ますが、適切に治療がおこなわれないと慢性の感染となり全身に広がって心臓、血管、脳などの内臓の病変が生じるようになります。新生児から高齢者まで幅広い年齢層にみられる疾患で、多彩な症状を呈します。一方で、早期診断、早期治療によって感染者を減らすことが可能な疾患です。

近年の感染者数の増加

日本では、1948年から梅毒の発

生について報告制度があり、報告数は1967年以降減少していましたが、2011年頃から再び増加傾向となりました。特に20代の若い女性の数が増えており、そのため母子感染による子の先天梅毒の数も倍増しています。(図1)

世界的にみても、梅毒感染者の数が特に途上国で増えています。梅毒が日本を含め世界的に広まっている理由はいろいろありますが、時代の変化に伴う性の多様化などの背景があるのではないかと考えられています。性感染予防のためには、基本的な感染対策や性教育などが必要になってきます。

梅毒報告数の推移※

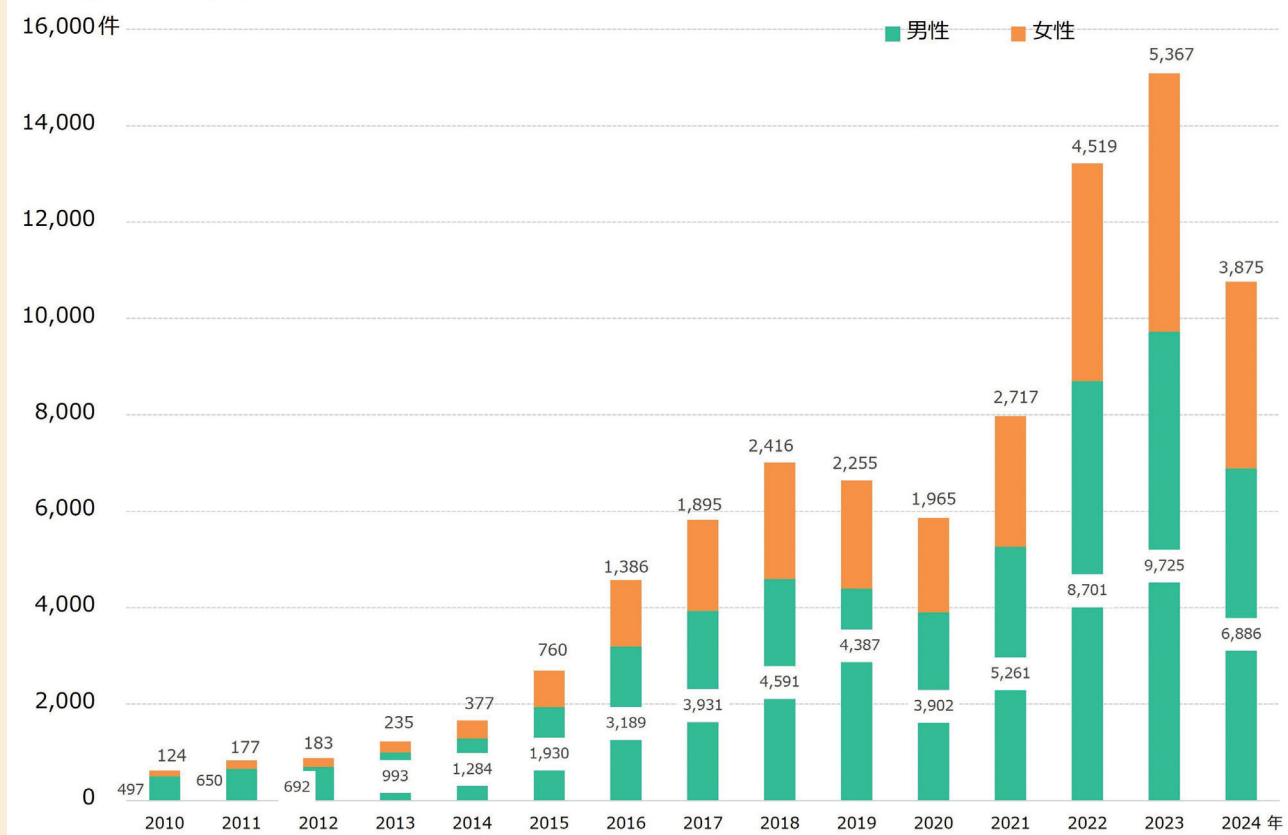


図1

梅毒の歴史

梅毒の歴史は長年、様々な研究がなされているものの、その病気の起源はまだ明らかにされていません。大航海時代にコロンブスの探検隊によってアメリカ大陸からヨーロッパに持ち込まれたという説が有力です。日本には、1512年に京都地方で流行したとの記録があり、その後瞬く間に日本中に拡大し、江戸時代には幕府は衛生管理する必要から吉原などの遊郭を作ったがその効果は得られなかったそうです。

1905年にドイツのシャウディンとホフマンによつて梅毒トレポネーマが発見されました。日本の科学者野口英世は、進行性麻痺の患者の脳から梅毒トレポネーマを発見し、梅毒が進行して神経梅毒をおこすことを示しました。1928年に抗生物質のペニシリンが発見され、1940年代になりペニシリンが梅毒の治療に効果があることが確かめられて、その後一気に梅毒

の患者が減少していきました。

梅毒の症状

梅毒は、スピロヘータの一種である梅毒トレポネーマ(*Treponema pallidum*)という病原体の感染により引き起こされる性感染症です。感染経路は性交渉と在胎中の母子感染がほとんどです。

主な症状は、性器や口の中に小豆や指先くらいの大きさのしこり(初期硬結)や痛みの少ないただれ(硬性下疳)ができる、手のひら、足の裏、体中に、痛みや痒みのない発疹(梅毒性バラ疹、丘疹性梅毒)ができる、そしてこれらの症状が消えても感染力が残っていて、治療しないまま放置していると、数年から数十年の間に心臓や血管、脳などの複数の臓器に病変が生じ、時には死に至ることもあります。

【病型分類まとめ】

第1期梅毒 感染後3〜6週間の潜伏期のあとに、梅毒トレポネーマの侵

入部位に認められる一次病変。感染局所に初期硬結や硬性下疳、無痛性の鼠径リンパ節腫脹がみられる。

第2期梅毒 感染後3ヶ月を経過すると、梅毒トレポネーマが血行性に散布されて二次病変が生じる。皮膚や粘膜に梅毒性バラ疹や丘疹性梅毒疹、扁平コンジローマなどの特有な発疹がみられる。

後期梅毒 感染から1年以上を経過。再び潜伏期を経て、第3期梅毒としてゴム腫、心血管症状、神経症状、眼症状、などを生じる。

治療は、ペニシリン系などの抗菌薬(飲み薬・注射)の投与です。医療機関を受診し、必ずセックスパートナーと一緒に治療を受けることが大切です。

先天梅毒

妊娠中の梅毒感染は特に危険です。妊娠している人が梅毒に感染すると、母親だけでなく胎盤を通じて胎児にも感染し、死産や早産になった

り、生まれてくる子どもの神経や骨などに異常をきたすことがあります。生まれた時に症状がなくても、遅れて症状が出ることもあります。

まとめ

梅毒をはじめとした性感染症は、性的接触を介して誰もが感染する可能性があります。また感染しても無症状の場合もあり、治療に結びつかないだけでなく、自分の知らない間に他人に感染させてしまうことがありますので注意が必要です。正しい知識を持つことと、適切な感染対策が必要となります。



ロコモ・フレイル・サルコペニアについて

本稿では「フレイル」についてお話しいたします。臨床では図1の様にヒトの老い方を9段階に分けた clinical frailty scale というものが存在します。しかし1970年代頃からの老年医学的研究により加齢による虚弱状態が生じ始めても早期に適切な介入をすれば以前の様な元気な状態に戻していけることがわかってきました。現在では90歳を過ぎても筋肉トレーニングにより筋量・筋力を改善することも知られています。そもそもフレイルの語源は frailty です。辞書を引いていただくとわかり

ますが「よぼよぼ、虚弱」と言ったネガティブな意味合いの強い言葉になっています。そこで、そうではない事をアピールするために日本老年医学会が親しみやすい4文字カタカナで「フレイル」と表記する概念を提唱してそのイメージを払拭しようという事で作られた言葉です。2014年のステートメントによれば「高齢期に生理的予備能が低下することでストレスに対する脆弱性が亢進し、生活機能障害、要介護状態、死亡などの転帰に陥りやすい状態で、筋力の低下により動作の俊敏性が失われて転倒しやすくなるような身体的問題のみならず、認知機能障害やうつなどの精神・心理的問題、独居や経済的困窮などの社会的問題を含む概念である」とされています。その基準はいくつかありますが、体重減少、筋力低下、歩行速度の測定と疲労感の自覚、身体活動状況の5つで簡便に判定される日本版CHS基準 (Satake S and Arai H. Geriatr Gerontol Int 2020;20(10):992) が良く

使われています。3つ以上の該当でフレイル、1、2つでプレフレイルとなりますが、図2にあるように早期に発見をして適切な運動、栄養、口腔ケア、疾病コントロール、社会活動を行えば健康状態に戻せると考えられています。もしご心配な方があれば、我々国

立長寿医療研究センターのロコモフレイル外来に来ていただければ適確な診断を行い、問題点を抽出して生活改善や運動療法、栄養指導などの適切な対応をさせていただきます。ご希望の場合は予約専用ダイヤル(0562-46-2547)にご連絡ください。

CLINICAL FRAILTY SCALE - JAPANESE



図1

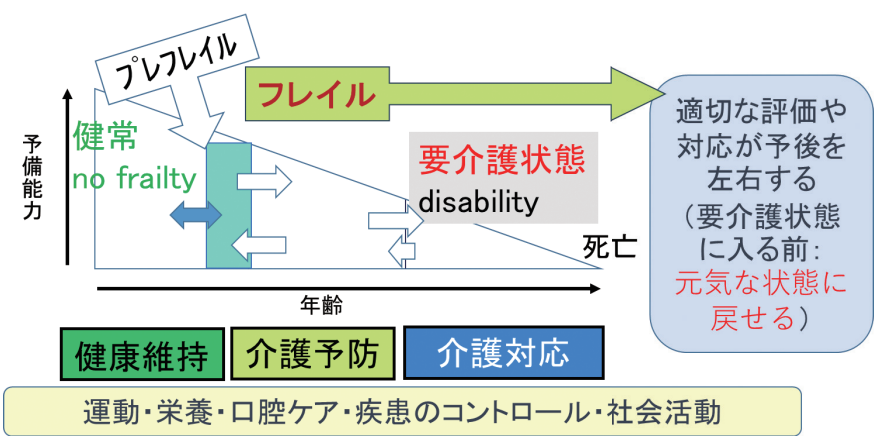


図2

バスのこないバス停の設置&デイサービスリニューアルオープン ～地域密着型サービス事業所 カサ デ ヴェルデ～



デイサービスフロア

●デイサービスリニューアルオープン

認知症対応型デイサービス「カサ デ ヴェルデ」が9月1日にリニューアルオープンいたしました。定員は12人の少人数制で認知症の診断のある方がご利用できます。認知症に特化したデイサービスだけに、個人に寄り添う個別ケアを中心にブネ楽器を使った音楽療法、畑を使った園芸療法など多彩な企画を計画しています。さらに特養、GHと一緒にイベントを楽しむなどカサ デ ヴェルデならではの楽しみ方も満載です。

オープンに先駆け8/20(水)に内覧会を行いました。看護師や作業療法士、相談員の相談ブースをはじめ福祉用具や昼食の展示、ヴェルデホールではチンドン屋のパフォーマンス、エレクトーン演奏、日本舞踊などプロの芸妓を披露していただきました。当日は180名程の関係者や近所の方などで賑わい、中には2度訪れる方も見えるほどでした。今後もカサ デ ヴェルデが賑やか活気あふれる場所になりますよう職員一同精一杯努めてまいります。皆様応援よろしくお願いたします。

●バスのこないバス停の設置

8月13日にカサ デ ヴェルデの玄関前に設置された「バスのこないバス停」は、令和4年度より愛知県認知症グループホーム連絡協議会東三河ブロック、豊橋市内の基幹型地域包括支援センター、豊橋鉄道株式会社が共同で進めているプロジェクトです。施設前にバス停を設置することで、帰宅願望のある認知症の方が落ち着かなくなった際の徘徊を防ぎ、気持ちが落ち着くまで過ごせる場所を提供することが目的です。使用されなくなった本物のバス停を豊橋鉄道株式会社が無償で提供していただき、今回で市内のグループホームでは11箇所目の設置となります。認知症の方に寄り添ったプロジェクトとして、各地に広がりを見せています。(内藤)



バスのこないバス停

特集

大規模災害に備えて

さわらび会の災害時における要配慮者の受入協定締結施設

福祉避難所は、地震や風水害その他の災害が発生した場合、市が設置する指定避難所（小・中学校）等での生活において特別な配慮を必要とする方の二次的な避難所です。「被災者の支援拠点・情報拠点」として、食料、水、物資の配給、様々な情報や医療、保健、福祉支援等を提供します。

豊橋市との連携

さわらび会では二〇二二年六月二十四日に豊橋市と災害時におけるお年寄りや障がい者を対象とした「要配慮者の受け入れに関する協定」を締結しました。当会では、医療法人のジユゲム、社会福祉法人の高齢者施設としてさわらび荘と第二さわらび荘、カサ ブランカ、カサ デ ヴェルデ、常盤、天伯、障がい者施設として珠藻荘とあかね荘、しろがねが協定の対象となっております（令和七年九月現在）。

要配慮者（一般の指定避難所では受け入れが困難な認知症の方々や障がいをお持ちの方々）を、専門の職員と





設備の整った施設において受け入れようとするもので、各施設等から市の対策本部を通して依頼がある要援護者を施設まで移送することも含まれております。

令和三年十二月十四日には協定運用にあたり必要となる事項等を定めた「福祉避難施設の設置運営マニュアル」の実効性確認及び協定施設との受け入れに関する手順を確認するための訓練が豊橋市役所及び福祉村を実施場所として開催するなどの取り組みも行われております。(黒柳)

特別養護老人ホームさわらび荘

【受入人数】 22名

【要配慮者1名につき、その介助者の受入人数】

1名〜2名

【開所した場合の対応】

介護や認知症に関する専門的な助言・相談支援を実施し、要配慮者本人のみならず、その介助者に対しても適切な情報提供を行います。また、必要に応じて食料品や日用品などの支援助資の提供も行い、地域との連携を図りながら包括的な支援体制の確立を目指します。

地域密着型サービス事業所常盤

【受入人数】 5名

【要配慮者1名につき、その介助者の受入人数】

1名〜2名

【開所した場合の対応】

介護や認知症に関する助言や支援、また、支援助資の提供や情報の提供を行います。



野依校区・天伯校区 との協力体制

福祉村近隣の野依校区、天伯校区と平成二十六年三月十一日に「大規模災害時における協力体制に関する協定書」を締結しました。両校区との災害時や防災に向けての連携をふかめていくものであり、福祉村各施設を避難施設として掲げ、避難対象者の明記や避難者の搬送、定期的な会議の開催や相互の防災訓練への協力などが盛り込まれております。

近年の協力体制としては、福祉村包括支援センターとの取り組みが活発に行われております。

野依校区とは災害時に安否確認等を行うための登録票への登録周知と登録票の作成・管理を共同で行っております。これは、発災時に単独での避難が困難である「要援護者」の方々へ校区の総代や組長からの安否確認や非難支援がスムーズに行えるようにはじめられたものです。

天伯校区とは、二ヶ月に一度程、防災会議に包括支援センター職員が参加させていただいております。

年間での行事で大きいのは6月の避難所開設訓練の手伝いと9月の小学校合同防災訓練になります。小学校合同防災訓練では防災用品の展示等させていただいております。

障害者支援施設 珠藻荘

【受け入れ可能人数】 30名

【開所にあたって、どんな準備をしているか】

珠藻荘の特長として2階に多目的ホールという広いスペースの空間があり災害時受け入れの際、入所者様と分けて収容することができ、さらにフロアには障がい者用トイレが男女合わせて四つあり、だれでも使いやすいハード面を備えています。

また、夜間想定や地震想定など様々なシチュエーションを想定した避難訓練を定期的に実施して緊急時への対応に備えております。(鳥居)

障害福祉サービス事業所 しろがね

【受け入れ可能人数】

5名(介助者1名ずつ)

【開所するにあたっての準備】

しろがねは通所施設で、1日あたり最大35名程通所されます。これに職

員と避難者を合わせた50名×7日分の食料や飲料水を食料備蓄として準備しており、災害時速やかに提供できるように屋外でガスコンロを用いた炊き出し訓練を年2回行っています。また、施設独自に防災倉庫を設置し、災害時に不足しがちな食器用ラップやウェットタオルなどの日用品も準備しています。

生活用水の確保ができるよう容量220Lの雨水タンクを設置、停電に備え携帯用発電機(ガソリン用2台、ガス用1台)も設置しており、これらについても同様に職員が使用方法を訓練しています。

実際に福祉避難施設として開設される際には地域ニーズを担当し、被災された方の安否確認、避難誘導を行うこととなります。そのため日頃より、要支援者を台帳管理し、被災時には迅速な対応ができるよう準備しています。(宮下)

障害者支援施設 あかね荘

あかね荘では福祉避難所施設として30名の方の受け入れが出来るように準備しています。受け入れ30名の方

の7日分の非常食や水が用意してあります。そして受け入れ場所としてはフリースペースや訓練室を考えています。

またLPガスを利用した発電機が2台、投光器も2台準備しています。発電機は通信に必要なスマートフォン等の充電を行う事ができます。

新型コロナウイルス感染症の流行以降は、感染予防用品(マスクや消毒用アルコール等)の備蓄も行っています

今後も福祉避難所として少しでもスムーズに受け入れができるように体制を整えていきたいです。(朝倉)

福祉村老人保健施設ジューゲム

【受入人数】 8名

【開所した場合の対応】

受入場所として施設7階を想定しております。介護や認知症に関する専門的な助言・相談支援を実施し、要配慮者本人のみならず、その介助者に対しても適切な情報提供を行うよう努めます。(白井)

特別養護老人ホーム 第二さわらび荘

【受け入れ人数】 10名

第二さわらび荘は定期的な防災訓練を年間を通じて行うとともに、食料や水のほか、当座の生活に必要な生活用品やLPガスを利用した発電機2台、投光器2台などを準備しています。発電機は通信に必要なスマートフォン等の充電や、お湯の準備などに役立ちます。

また感染予防用品(マスクや消毒用アルコール等)の備蓄のほか、車椅子、歩行器、シルバーカーなども準備し、要配慮の方が来られても、生活を送りやすくするための支援ができるように努めています。(東郡)



備蓄倉庫

特別養護老人ホーム カサブランカ

【受け入れ人数】 5名

カサブランカでは受け入れ場所として1階のカトレアホールの活用を考えています。カトレアホールは121㎡の多目的ホールとなっており、福祉避難施設としての活用の際には要配慮者とそのご家族や介助者とともに避難していただいても十分なスペースを提供することができます。また利用者様が使用していないマットレスや車椅子の提供、パーテーションによるプライバシーの確保なども可能です。食料は利用者様用のものを除き、5名×5日分の備蓄があります。(小久保)



カトレアホール

地域密着型サービス事業所 カサデヴェルデ

【受け入れ人数】 5名

カサデヴェルデは受け入れ場所として、普段イベントなどで使用している「多目的ホール」を提供可能です。食料は全体で約60人分の方が生活できるように用意しています。また、普通食60人分に加え要介護者でも食べられるソフト食15名分も準備しています。

排泄用品やその他生活必需品、医療物資、マスク、アルコール、車いす、歩行器など、要配慮の方が来られても生活可能な準備を行っているほか、LPガスを利用した発電機2台と投光器2台もあります。(河合)



多目的ホール

特別養護老人ホーム 天伯

【受け入れ人数】 3名

天伯では稼働しているユニットが現在3つあり、それぞれのリビングの空きスペースであれば避難所として提供できると考えています。

食糧は利用者様用とは別に3名1日分の食糧が別途保存してあります。マットレスや車椅子は利用者様とは別に使用できるものがあり、排泄用品も常時ある程度の量が施設内にあるため、避難してきた要介護者の方に提供できると考えています。また、感染予防用品やLPガスを利用した発電機2台や投光器2台も備え付けてあります。(塩見)



ユニット内の空きスペース

カサデローザの皆さんとの「おりがみ交流会」

～福祉村保育園～

8月6日に、カサデローザの皆さんとコロナ禍で、できなかった「おりがみ交流会」を五年ぶりに行うことができました。「何を折ろうか？」と優しく声をかけてくださり、ふうせんやだまし船、やつこさんなどを教えていただき、子ども達は頑張って折っていました。最後に大きな紙に貼り付け完成了ました。(岩間)



インカムを導入しました

～障害者支援施設 あかね荘～

8月よりインカムを導入しています。インカムを導入したことで、装着者全員に同時に情報伝達ができるようになりました。また導入に際しては、「骨伝導Bluetoothイヤホン」タイプを選択しており、ワイヤレスイヤホンで目立ちにくく装着装着し、利用者様の支援に影響が少なくなるよう配慮もしており、今まで以上に迅速・安全・生産性の高い支援を実現できるようになりました。

ミニムスタートとして10セットの導入から始めましたが、実際に活用する事で、多くの職員から有用性の高さを評価されており、今年度中にもう10セット補助金事業等を活用しながら購入する予定です。あかね荘では今後もテクノロジーの活用による業務の効率化を図っていきます。(白井)



運営推進会議・地域ケア会議の開催

～地域密着型サービス事業所 常盤～

8月19日、常盤ホールにて「運営推進会議」と「地域ケア会議」を開催いたしました。当日は地域の方や他事業所の方が15名参加してください、「オレンジカフェときわ」の今後の在り方について皆様より意見をいただきました。「レクリエーションがあった方がいい」「おしゃべりできるだけでいい」「専門職の方と話がしたい」など、様々な意見が飛び交いました。翌日の20日には8月の「オレンジカフェ」が開催されましたが、今回は脳トレレクリエーションを行いました。今後とも地域の皆様と一緒に「オレンジカフェときわ」を作っていきたいと思えます。(藤原)



チャレンジアート交流会がありました

～障害者支援施設 珠藻荘～

8月22日チャレンジアート交流会がありました。サマースクール二川2025のひとコマを「障害者アートに触れる機会」として開催しました。当日はチャレンジアート交流会として、開催しました。当日はチャレンジアート交流会として、稲垣さんが口でかぎ棒をくわえて絵織りをする様子をみていただき、自分たちもペンを口でくわえて、絵や名前を書くことのチャレンジをしました。

当日は15名の小学生と大学生のボランティア4名、付き添い5名の計24名が参加されました。(高橋)



飯田線の車窓から

日々彼は是

ひび あれ これ
谷さゆり

特に急がない事で有名な「特急伊那路」、飯田線単独の駅としては最大の旅客数を誇り特急も必ず停車する豊川駅を颯爽と駆け抜けひたすら秘境駅へと向かう今年で15周年を迎える急行「飯田線秘境駅号」、豊橋～上諏訪間を約7時間をかけて走行する普通列車など話題に尽きない飯田線ですが車窓からの風景はとても素敵です。長野県では赤石山脈と木曾山脈の雄大な景色は圧巻ですが旧三信鉄道の山間の集落を結ぶ区間も趣があります。

これはとある沿線沿いにある小さな家の物語です。

初めて見たのはこの家に住むご夫婦なのでしようか。袖なし作業着を袴に着こなした町内会の会長さんをされているような濃厚な雰囲気のご主人とつば広帽子を深くかぶり農作業用の割烹着を身に着けた奥様が飯田線の列車を見ながら家に入ってゆくところでした。特急とはいえ特に急がない速度での走行です。何か話しているところもぼつちり見えました。地元豊橋の

農家さんと変わらない格好で三遠南信は繋がっていると実感しました。

数年後、その小さな家の前に赤ちゃんを抱いた若いご夫婦がいました。真新しい自家用車が敷地内に停まっています。新しい家族のお披露目でしょうか？山間の静かな家にも活気が溢れているようでした。

数年後、その小さな家の敷地に子供用のブランコがありました。あの時見た赤ちゃんがもうブランコで遊べるようになったんだ、子供の成長は早いものだなと思いました。

数年後、その小さな家の前に5、6人の人が立っていました。喪服を着て位牌と遺影と白い骨覆いに包まれた骨箱が見えました。小さな男の子もいます。息子さんらしき若い男性が涙をこらえるような表情で玄関を開けようとしていました。

数年後、その小さな家の敷地にあつたブランコも自家用車もありません。ただ家の窓には白いレースのキッチンカーテンが掛けられ人が住んでいるような気配だけ伝わってきました。

そして今年の春、その小さな家に掛けられていたキッチンカーテンも取り払われていました。

まるで映画のような車窓からの風景でした。人が住み駅があればこれからも様々な物語が紡がれるのでしょうか。

Vol. 130 relay column さわらび会 のわ

障害者支援施設 珠藻荘
事務員

牧野 弥生



長男が大学進学で京都に下宿する事になって、二年半経ちます。それ以来、年に数回家族で京都観光をするようになりました。

小学校の修学旅行で初めて京都を訪れ、金閣寺、清水寺と有名な仏閣を観光した時と違い、主人と訪れる際は、なるべく違う所を訪問するようになっています。京都の寺社仏閣の荘厳さは言うまでもなく素晴らしいものですが、それよりも庭園の美しさ、凜とした風景に心惹かれる気持ち湧いてきます。

五月には、今年入籍した娘夫婦が流行のウエディングフォトを京都の仁和寺で撮りました。小雨降る中、綿帽子の花嫁姿になり、美しい新緑の中で立つ二人の姿は、感慨深い思い出写真ができました。

私のよなやん

福祉村病院 介護医療院
 エラスガラヤン ジョセフ ガルディオ
 出身 ● フィリピン
 学歴 ● University of perpetual help system calamba

私はフィリピンから参りました。ラグナのカランバ市という街で産まれました。

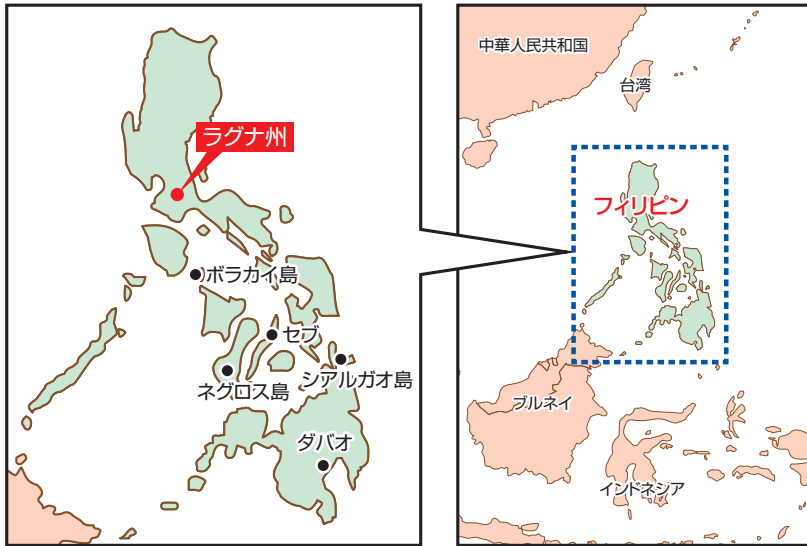
カランバ市は、フィリピンのルソン島南部、ラグナ州にある都市です。マニラから南に約50キロの場所であり、交通の便がよく、多くの人が訪れる場所です。カランバは「フィリピンの温泉リゾートの都」と呼ばれていて、特にパンソール地区の温泉で有名です。山のふもとから湧き出るお湯を利用したリゾートやプールがたくさんあり、週末や休みに家族や友だちと楽しむ人が多いです。

また、カランバ市はフィリピンの国民的英雄であるホセ・リサールの生まれた町としてもよく知られています。彼の生家は今「リサル記念館」となっていて、国内外から多くの観光客が訪れます。ここではリサールの歴史や、フィリピン独立のための活動について学ぶことができます。カランバは、フィリピン人にとって誇りを感じる特別な場所なのです。

街の中心には「バンガ」と呼ばれる大きな土器のモニュメントがあります。これはカランバ市のシンボルであり、街の名前の由来になったものです。スペイン統治時代、この地方の人々は大きな土器を使って水を運んでいました。そのため、この土地が「カランバ」と呼ばれるよう



フィリピン ルソン島周辺の主要都市



になったと言われています。経済の面でも、カランバはとても発展しています。工業団地や経済特区があり、多くの外国企業が工場を建てています。そのため、地元の人々にたくさんのお仕事が生まれ、街の生活も豊かになっています。さらに、大きなショッピングモールや商業施設も増えていて、都市としての機能がどんどん広がっています。

このように、カランバ市は歴史、観光、そして経済の三つの面でもとても大切な役割を持っています。英雄リサールの町であり、温泉リゾートの町であり、また産業が成長する町でもあるのです。カランバは、ラグナ州の中心であり、多くの人に愛される魅力的な都市だと言えるでしょう。



第137回 さわらびキッチン 栄養士のつぶやき

珠藻荘 管理栄養士 高橋 朋子

秋晴れが心地よい季節となりました。「食欲の秋」「味覚の秋」と言われるほど、この時期に多くの食材が旬を迎えますが、その中でも松茸は秋にしか食べられない特別な食材だと思います。

秋の味覚の代表格であり高級食材でもある松茸ですが、一番の特徴はその香りにあります。松茸の主な香気成分は「マツタケオール」と「桂皮酸メチル」であり、この2つには食欲増進効果や消化酵素の分泌を促進する効果があると言われています。これらの成分の名前を聞くと、松茸の香りの特徴づけている成分は「マツタケオール」なのではないかと思われる方も多いと思います。しかし「マツタケオール」はほとんどのキノコに共通して含まれており、いわゆるキノコ臭を形成する成分です。もう一つの香気成分である「桂皮酸メチル」こそ、松茸の香りの特徴づけている成分であり、キノコ類では松茸のみに含まれる成分になります。

松茸は日が経つほど鮮度はもちろん香りも落ちていくことが分かっています。手に入れた際はその限り早く食べるようにして、あの芳醇な香りを堪能してみてください。



◆病院介護医療院シゴケム

- 8月6日 豊橋技術科学大学にて学生教職員の健康管理 健康相談を斉藤友紀子医師が行った
- 12日 看護師長会議
- 13日 シゴケム幹部会
- 14日 病院幹部会(理事長・ゆかり副理事長参加)
- 15日 開院記念式典(理事長・ゆかり副理事長参加)
- 19日 福祉村合同慰霊祭(理事長・ゆかり副理事長参加)
- 衛生委員会
- 21日 C.P.C.
- 23日 豊橋技術科学大学にて学生教職員の健康管理、健康相談を斉藤友紀子医師が行った
- 25日 医療安全委員会
- 26日 看護師長会議
- 27日 看護部主任会議
- 9月3日 感染対策委員会
- 豊橋技術科学大学にて学生教職員の健康管理 健康相談を斉藤友紀子医師が行った

◆さわらび白珠特産

- 8月6日 地域ケア会議(渡邊憲・白井秀・松下・白下・伴・石黒・森山)青陵生涯学習センター
- 牛川下条民生委員定例会(石黒)青陵生涯学習センター
- 石巻民生委員定例会(白井秀・石巻生涯学習センター)
- 福祉現場と専門職をつなぐフォーラム(渡邊憲)Web
- 主任介護支援専門員研修(森山)刈谷
- 15日 主任介護支援専門員研修(森山)刈谷
- 19日 愛知県グループホーム連絡協議会東三河ブロック会議(太田施設長・中坪三浦)豊川市
- 20日 西郷すこやかサポート(松下)平野町公民館
- 21日 常盤運営推進会議(地域ケア会議)渡邊憲・藤原中坪・島田(常盤)
- 25日 高齢者福祉関係職員基礎研修(太田施設長・ロサン、ハル)刈谷
- 26日 介護認定審査会(太田施設長)Web
- 27日 健康チェック(白井秀・伴・石巻老人福祉センター)
- 28日 アマネ茶話会(白下・伴)つじが丘地域福祉センター
- 29日 愛知県社会福祉協議会高齢者部職員研修会(白下・伴)兵衛(太田)刈谷
- 30日 保健師会議(松)Web
- 31日 主任介護支援専門員研修(森山)刈谷
- 西郷すこやかサポート(松下)平野町公民館
- 平野町老人クラブ(松下)平野町公民館
- 27日 三河部施設長会議(太田施設長)Web
- 26日 独居でも安心して生活できる地域づくり推進会議(白井秀・伴)金田(佐)
- 25日 社会福祉士会議(石黒)市役所
- 24日 高齢者虐待防止研修会(渡邊憲)中坪・島田(丸)地(フイ)ポトトよはし
- 23日 愛知県グループホーム連絡協議会事務局連絡会議(太田施設長)名古屋
- 22日 牛川北町老人クラブ(松下)石巻(浪ノ上)会館
- 21日 職種別主任ケアマネ会議(白井秀・伴)つじが丘地域福祉センター
- 20日 牛川下条民生委員定例会(伴)青陵生涯学習センター
- 19日 石巻民生委員定例会(石黒)石巻生涯学習センター
- 18日 石巻民生委員定例会(石黒)石巻生涯学習センター
- 17日 主任介護支援専門員研修(森山)刈谷

◆さくらびカサデウエビ・カサデウエビ・カサデウエビ

- 8月6日 カサデウエビ夏祭り
- 12日 カサデウエビ夏祭り
- 18日 カサデウエビ夏祭り
- 19日 愛知県認知症グループホーム連絡協議会東三河ブロック会議(山本施設長・白井・豊川)
- 20日 カサデウエビ内覧会
- 21日 天日運営推進会議
- 22日 グループホームフジ夏祭り
- 23日 グループホームフジ夏祭り
- 24日 グループホームフジ子ども食堂ふえり
- 26日 さくらび井筒連絡協議会
- 27日 愛知県認知症施策推進会議(山本施設長)Web
- 28日 老人ホーム三河部施設長特別養護老人ホーム施設長会議(山本施設長)Web
- 29日 交流イベント夏祭り×ロディー・珠藻荘
- 30日 グループホームフジ防災訓練
- 9月2日 高齢者ケアを支える女性の会総会(山本施設長)大阪
- 9月2日 愛知県社会福祉大会(山本施設長)
- 9月27日 シェアハウス八町
- 8月27日 交流イベント夏祭り×ロディー・珠藻荘

◆珠藻荘

- 8月7日 珠藻荘経営会議
- 11日 福祉村病院訪問医師
- 14日 感染症対策リスクマネジメント委員会
- 19日 福祉村病院訪問医師
- 20日 個別支援会議(島田)あいつ
- 21日 自立支援協議会大規模災害時の支援体制検討会(島田)あいつ
- 25日 豊川
- 26日 豊川
- 27日 豊川
- 28日 豊川
- 29日 豊川
- 30日 豊川
- 9月1日 豊川
- 9月2日 豊川
- 9月3日 豊川
- 9月4日 豊川
- 9月5日 豊川
- 9月6日 豊川
- 9月7日 豊川
- 9月8日 豊川
- 9月9日 豊川
- 9月10日 豊川
- 9月11日 豊川
- 9月12日 豊川
- 9月13日 豊川
- 9月14日 豊川
- 9月15日 豊川
- 9月16日 豊川
- 9月17日 豊川
- 9月18日 豊川
- 9月19日 豊川
- 9月20日 豊川
- 9月21日 豊川
- 9月22日 豊川
- 9月23日 豊川
- 9月24日 豊川
- 9月25日 豊川
- 9月26日 豊川
- 9月27日 豊川
- 9月28日 豊川
- 9月29日 豊川
- 9月30日 豊川

◆フェリス福祉村

- 8月4日 さくらび学園介護実習(第一グループ)15日
- 8日 ネイルレク
- 12日 習字クラブ
- 18日 さくらび学園介護実習(第二グループ)29日
- 19日 習字クラブ
- 20日 夏祭り(盆踊り)
- 25日 八雲たけ訪問販売
- 26日 歌の会
- 27日 習字クラブ
- 誕生会

◆若菜荘

- 9月1日 ヨリカラン
- 2日 さくらび学園介護実習(第二グループ)12日
- 4日 アロマハンドマッサージ
- 4日 ついでに会レクボランティア
- 8月5日 仏具磨き
- 6日 イオンショップ
- 6日 ヨリカラン
- 13日 大清水図書館外出
- 14日 口腔体操
- 15日 喫茶会
- 21日 喫茶会
- 22日 喫茶会
- 28日 高齢者虐待防止研修会(山本施設長)
- 29日 フォーラム
- 30日 フォーラム
- 9月1日 フォーラム
- 5日 フォーラム

◆あか荘

- 8月6日 知的障害者福祉協会防災訓練
- 福祉現場と専門職養成をつなぐ フォーラム愛知(林)Web
- 就労選択支援セミナー(鈴木・河井)豊川市勤労福祉会館
- ANSK研修(障害分野と介護保険分野との連携)村浦部市文化会館
- 7日 経営会議
- 8日 自治会誕生日会
- 9日 知的障害者ケア練習(鈴木・河井)豊川市勤労福祉会館
- 10日 知的障害者ケア練習(鈴木・河井)豊川市勤労福祉会館
- 11日 知的障害者ケア練習(鈴木・河井)豊川市勤労福祉会館
- 12日 知的障害者ケア練習(鈴木・河井)豊川市勤労福祉会館
- 13日 知的障害者ケア練習(鈴木・河井)豊川市勤労福祉会館
- 14日 知的障害者ケア練習(鈴木・河井)豊川市勤労福祉会館
- 15日 知的障害者ケア練習(鈴木・河井)豊川市勤労福祉会館
- 16日 知的障害者ケア練習(鈴木・河井)豊川市勤労福祉会館
- 17日 知的障害者ケア練習(鈴木・河井)豊川市勤労福祉会館
- 18日 知的障害者ケア練習(鈴木・河井)豊川市勤労福祉会館
- 19日 知的障害者ケア練習(鈴木・河井)豊川市勤労福祉会館
- 20日 知的障害者ケア練習(鈴木・河井)豊川市勤労福祉会館
- 21日 知的障害者ケア練習(鈴木・河井)豊川市勤労福祉会館
- 22日 知的障害者ケア練習(鈴木・河井)豊川市勤労福祉会館
- 23日 知的障害者ケア練習(鈴木・河井)豊川市勤労福祉会館
- 24日 知的障害者ケア練習(鈴木・河井)豊川市勤労福祉会館
- 25日 知的障害者ケア練習(鈴木・河井)豊川市勤労福祉会館
- 26日 知的障害者ケア練習(鈴木・河井)豊川市勤労福祉会館
- 27日 知的障害者ケア練習(鈴木・河井)豊川市勤労福祉会館
- 28日 知的障害者ケア練習(鈴木・河井)豊川市勤労福祉会館
- 29日 知的障害者ケア練習(鈴木・河井)豊川市勤労福祉会館
- 30日 知的障害者ケア練習(鈴木・河井)豊川市勤労福祉会館

◆明日香明日香ホームすみれホーム

- 8月6日 事業所(安田)
- 12日 高麗中職場体験打ち合わせ(安田)小麦の奴隷
- 16日 すみれホーム誕生日会
- 21日 ケース会議
- 24日 いきいきフタタクキー販売(未松施設長)
- 25日 明日香ホーム世話人会議(1日目)
- 26日 明日香ホーム世話人会議(2日目)
- 28日 すみれホーム世話人会議
- 9月4日 自治会誕生日会
- 9月4日 経営会議
- 29日 愛知県相談支援従事者現任研修受講(2日目)佐宗
- 28日 名古屋
- 24日 名古屋
- 24日 名古屋
- 26日 名古屋
- 28日 名古屋

◆ししがね

- 8月6日 バス散歩 万場緑地
- 7日 夏祭り
- 13日 盆踊り
- 15日 盆踊り
- 20日 おやつ作り
- 21日 バス散歩 万場緑地
- 27日 交流イベント夏祭り×ロディー・珠藻荘
- 27日 倉古(諸井)
- 9月3日 バス散歩 万場緑地

◆すみれ

- 8月22日 中部福祉学生レク
- 27日 交流イベント夏祭り×ロディー
- 28日 夏祭り
- 8月11日 各施設共通
- 12日 夏休み親子福祉体験講座
- 12日 在宅医療福祉部会Web
- 22日 障害福祉部会Web
- 22日 高齢福祉部
- 25日 チャレンジアート交流会
- 25日 早稲編集会
- 26日 さくらびグループ経営企画会議
- 28日 さくらび大学
- 9月5日 経営企画会議
- 文化祭実行委員会
- 夏休み親子福祉体験講座実行委員会

さわらび会後援会寄附ご芳名

令和7年8月6日～令和7年9月5日

豊橋市野依町字西物草 1 2 家具の街ヨコモランド 10,000 円

豊橋市入舟町 2 1 (株)三恵薬品 10,000 円

豊橋市駅前大通一丁目 5 5 サラエナジー株式会社 10,000 円
サラータワー

匿名氏 1,000 円

たくさんのご寄付ありがとうございました。
計 **31,000円**
現在までにご寄附いただきました金額は
902,474,561円

●福祉用具紹介のコーナー

ハジー安心ストロー

350～500mlペットボトル用
倒しても漏れない、寝たまま飲める！
誤嚥防止の安心ストロー

- 寝たまま(座ったまま)頭を動かさずに、片手で(ワンタッチ)こぼさず飲むことができます。
- 飲んでる時に、うっかり手を離しても自動閉止装置が作動して漏れることはありません。

- 重量／30g
- 素材／上部ストロー・下部ストロー・キャップ: PP・その他の部品:ABS
- 使用温度／5℃～45℃(50℃以上使用禁止)
(あかね荘障害者生活支援センター 木村)

（ストローのみ可）



販売価格: 1,320円 税抜1,200円 (介護保険適用外)

問い合わせ先 福祉サービス株式会社 ☎(0532)66-1011

第43回 さわらび文化祭 文化祭開催のお知らせ

開催日 ● 令和7年11月3日(月)文化の日
午前10時～午後3時

場 所 ● 福祉村(豊橋市野依町字山中19番地)

主な企画

※内容に変更が出る場合がございます。詳細は主催者にお問い合わせください。

- アニメ好き、集まれ!
- にぎらかな寿司
- VR認知症体験
- 福祉村パネル展
- 野外ステージ
- 健康・利用相談コーナー
- 福祉村バザー
- イント福祉村物産展
- アジア物産展
- 秋陽展
- 福祉村スタンプラリー
- キッチンカー

文化祭のお問合せ先

さわらび文化祭実行委員会(有料老人ホームフェリス福祉村)

0532-47-2202(担当者:瀧崎)

学生ボランティア

～福祉村病院～

8/4夏祭りに、初めての試みで学生ボランティア11名が参加してくれました。(西潟)

実習生の受け入れをしました

～福祉村病院～

7/28～8/22さわらび学園から実習生がきました。実習最終日には合同レクリエーションをさせていただきました。(西潟)

～障害者支援施設 あかね荘～

7/28～8/22さわらび学園の実習生4名を受け入れました。
(あかね荘障害者生活支援センター 木村)

～障害者支援施設 珠藻荘～

7/28～8/22さわらび学園の実習生2名を受け入れました。(岩水)

デンソー夏祭りにて販売を行いました

～障害福祉サービス事業所 明日香～

8月6日にデンソー様にて夏祭りが行われました。今年もクッキーと小麦の奴隷のパンを販売させていただきました。

辻勇三さんの作品が万博にて展示されます

～障害福祉サービス事業所 明日香～

10月8日(水)～11日(土)の期間、大阪・関西万博会場にて展覧会が実施されることとなりました。

愛知県認知症グループホーム連絡協議会東三河 ブロック「第10回 豊橋作品展」に出展しました



この作品展は、豊橋市役所との共催による企画であり、今年で10回目となりました。

開催期間中は、作品展と合わせて「アルツハイマー月間イベント」と題し、豊橋市役所長寿介護課主催の認知症への理解を深める啓発活動も同時開催され、さわらび会のグループホーム4施設も各会場への出展をさせていただきました。（中坪）

開催場所	期間	展示内容・参加施設		
豊橋市役所 東館1階 市民ギャラリー	9月1日～ 9月8日	貼り絵【鯉】 (常盤)	貼り絵・果物の工作 (カサデヴェルデ)	貼り絵・工作 (フジ)
豊橋市役所 東館2階 東・西・北面のガラス壁	9月1日～ 9月24日	入居者の皆さんの笑顔の写真を飾ります ～行きたい！やりたい！楽しみたい！～ (白珠・常盤・カサデヴェルデ・フジ)		
豊橋駅前 名鉄・JR改札口前会場	9月2日～ 9月30日	貼り絵【兜】 (常盤)	貼り絵 3点 (カサデヴェルデ)	貼り絵 (フジ)
総合福祉センターあイトピア	9月10日～ 9月30日	貼り絵【鯉】 (常盤)	貼り絵 (フジ)	
大清水地域福祉センター	9月10日～ 9月30日	貼り絵【ひまわり】 (カサデヴェルデ)		
豊川市民病院	9月16日～ 9月24日	貼り絵・粘土細工 (カサデヴェルデ)		貼り絵【みかんの木】 (フジ)
名古屋トヨペット高師店	9月9日～ 9月19日	貼り絵 (カサデヴェルデ・フジ)		

- 福祉村病院 ☎(0532)46-7511
- 福祉村老人保健施設 ジュゲム ☎(0532)46-7501
- 特別養護老人ホーム さわらび荘 ☎(0532)54-3501
法人本部 豊橋市浪ノ上町7-2
- グループホーム 白珠 ☎(0532)66-0082
- 地域密着型サービス事業所 常盤 ☎(0532)62-3370
- 特別養護老人ホーム 第二さわらび荘 ケアハウス カサ デ ローザ ☎(0532)37-1209
- 特別養護老人ホーム カサ プランカ ☎(0532)69-1701
- 地域密着型サービス事業所 カサデヴェルデ ☎(0532)23-5552
- 特別養護老人ホーム 天白 ☎(0532)48-1113
- グループホーム フジ ☎(0532)54-5477
- 軽費老人ホーム 若菜荘 ☎(0532)48-1138
- 障害者支援施設 珠藻荘 ☎(0532)47-1050
- 障害者支援施設 あかね荘 ☎(0532)48-2825
- 障害福祉サービス事業所 明日香 ☎(0532)46-6579
- 福祉村障害福祉サービス事業所 しろがね ☎(0532)48-1032
- あかね荘 障害者生活支援センター ☎(0532)38-9090
- サービス付き高齢者向け住宅 シャトーローズ八町 ☎(0532)52-0005
- 介護付き有料老人ホーム フェリス福祉村 ☎(0532)47-2202
- 障害福祉サービス事業所 すみれ ☎(0532)38-5077
- 共同生活援助事業所 すみれホーム ☎(0532)29-8180



医療法人・社会福祉法人
さわらび会
理事長 山本孝之

台風等自然災害で
被災された皆様へ
心よりお見舞いを申し上げます

さわらびグループCEO/DEO 山本左近

医療法人 さわらび会 理事長 山本孝之
社会福祉法人

職員一同